

左から鳴海・鈴木・酒巻・木津市長・佐藤・西村



現在、コロナ禍に加え、円安、原油・物価高騰による経済の落ち込みという国難に直面しています。また、近年は想定を超える自然災害が頻繁に発生し、防災・減災の対策強化が求められています。公明党市議団(酒巻宗一団長)は、現状を踏まえ、党の基本理念である「平和」「福祉」「教育」「環境」を柱とした市民が安全で安心して暮らせる街づくりの市政運営を求め、木津雅晟市長に対し、令和5年度予算編成にあたり諸施策に関する要望書を提出致しました。

令和五年度
予算要望書を
市長へ提出!!

■ 新型コロナウイルス感染症対策

- ①: コロナにより影響を受けている全商工業の事業者に対し、継続的な支援策
- ②: 市役所内で密の回避の為、手続き時間短縮のシステム導入や、オンライン手続きの拡充
- ③: 訪問型家庭支援事業を市の事業として今後も継続を

主な要望内容

1. 子育てしやすいまちづくり

- ・産後ケアサポートセンターの設置
- ・ひとり親家庭への支援
- ・ヤングケアラー対策 等

2. 安心・安全のまちづくり

- ・道路環境整備の推進
- ・主要幹線道路の耐震補修工事の推進
- ・公共下水道の整備促進と共に接続率の向上 等

3. 誰もが教育を受けられるまちづくり

- ・障がいやジェンダーに配慮した教育環境の整備
- ・学校施設改修の際に、ゼロカーボンシティの発想で取り組みを
- ・三郷市電子図書館の初期利用登録からフルオンライン化を 等

4. 安心して住み続けられるまちづくり

- ・介護離職を未然に防ぐ為の相談や、各種制度の情報を発信するなど、更なる支援の強化
- ・女性のがん検診の充実
- ・带状疱疹ワクチンの接種費用の助成 等

5. 多様な生き方を尊重するまちづくり

- ・若者や女性、外国籍の人など、誰もが生き生きと暮らすための環境整備
- ・性別の区別なく誰もが自分らしく生きやすい社会を目指した男女共同参画事業への更なる取り組み 等

6. 活気のあるまちづくり

- ・商業、農業の活性化
- ・シティプロモーションとして観光農園を拡充する為の支援策を
- ・三郷市の魅力ある事業として緊急船着き場を利用し、江戸川の水上市場観光としての舟運の事業化 等

以上、98項目にわたり要望致しました。

◎ 公共施設でマイナポイント申込の出張支援！

マイナポイント第2弾事業に合わせて、市内の公共施設等での出張サポートが開催されています。公明党市議団は、設定方法がわからないと困っている市民に丁寧な支援を要望して参りました。

今年も2月末まで各地で開催されます。マイナンバーカードの健康保険証としての利用申込みや公金受取口座の登録もサポートします。予約は不要です。

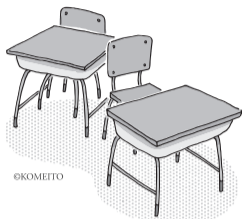
※市役所本庁舎1階の特設ブースでも、2月末まで、平日午前9時から午後5時までサポートをおこなっています。

彦成地区文化センター (2階 小会議室)	1/17(火)~1/20(金)	10:00~12:00 13:00~16:00
鷹野文化センター (2階 会議室)	1/30(月)~2/3(金)	10:00~12:00 13:00~16:00
瑞沼市民センター (1階 会議室)	2/13(月)~2/17(金)	10:00~12:00 13:00~16:00
ららほっとみさと	2/20(月)~2/22(水)	10:00~12:00 13:00~16:00
	2/24(金)	
	2/27(月)~2/28(火)	

12月定例議会の一般質問要旨

受験生の学習の場の確保を!

図書館などに行くと一生懸命に勉強をする子ども達の姿をたくさん見かけます。最近では、塾などの自習室を活用するという事も聞いております。地域によっては、近くに図書館がなく、文化施設の図書室は手狭なため、施設の利用も出来ません。塾などには通わせられない、小さい兄弟がいるので自宅で落ち着いて学習が出来ないなどのお困りの声に対し、受験生が安心して学習できる場の確保として、学校図書室の休日開放と、放送大学教室の利用について質問を致しました。



多言語によるメール配信サービスを!

三郷市は住みやすいまちとして外国籍の住民がますます増えていますが、「防災行政無線がわからない」という不安の声が届いています。市からのイベント情報や防災行政無線の内容などを発信している「三郷市メール配信サービス」を多言語でおこない、日本語に不慣れな方に即時性のある情報を伝えることについて質問しました。



「ユースワーカー養成講座」と青少年の居場所づくりを!

「ユースワーカー」とは若者の成長を手助けする専門スタッフで、居場所の提供や地域社会との橋渡しなどのサポートをします。欧州諸国から始まり日本でも広がりを見せています。三郷市においても青少年支援のすそ野を広げる為にも、この様な養成講座を実施し、官民協同での支援の拡大を図るべきと考えます。さらに、青少年が学校や家庭以外に集える場は、社会性や自己肯定感を養えるとして必要性が論じられている為「青少年ホーム」を誰もが自由にふらっと通える場とし、様子を見守り、相談が出来る体制を作るべきと質問をしました。



児童生徒の心の支援のためのICT活用を!

コロナ禍で子どもたちを取り巻く環境が大きく変わりました。人と人の距離が広がる中、不安や悩みを相談できない子どもたちがいることが心配されます。子どもの小さな変化に気づき、SOSをキャッチすることが大切です。児童生徒がタブレットに心の状態を入力するアプリなどで、教員間でデータ共有し、担任だけでは見落としかねない問題の早期発見や、寄り添った声かけで早期対応につなげるICT活用について質問しました。



◀その他の質問▶
・保育所等バスの置き去り対策について
・「9価HPVワクチン」について

◀その他の質問▶
・介護事業所の業務継続計画策定の支援について
・てんかん発作を持つ児童生徒に対応する教職員の研修について

12月議会の概要

令和4年12月三郷市議会定例会が、11月28日から12月9日まで12日間の会期で開催されました。可決した主な議案は、次のとおりです。

- ①個人情報保護に関する法律施行条例
- ②職員の定年等に関する条例等の一部改正
- ③市立老人憩いの家設置及び管理条例を廃止する条例
- ④こども医療費支給に関する条例の一部改正
(支給年齢を満18歳に達する日以降の最初の3月31日までに改正)
- ⑤令和4年度一般会計補正予算(第6、7号)
 - ・電力、ガス、食料品等価格高騰緊急支援給付金
 - ・三郷市生活支援臨時特別給付金
 - ・公共施設の光熱水費(燃料費高騰分) その他

●三郷市独自の生活支援で2万円支給!

エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担を軽減するため、年間所得が200万円以下で住民税が課税される世帯に対し、1世帯当たり2万円が支給されます。国の緊急支援給付金の受給対象となる非課税世帯と同等の所得層であっても、対象条件に合致せず5万円の給付が受けられない世帯への支援として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、三郷市独自に実施します。12月議会で提案された補正予算が可決成立し、決定しました。対象は、約11,600世帯(対象世帯には確認の書類が送付されます)。

公明党市議団



さかまき 宗一
☎955-2772



鈴木 しんたろう
☎958-7486



佐藤 むつろう
☎954-1554



なるみ 和美
☎955-7715



西村 すみえ
☎958-8369

くらしの相談はお気軽!!

公職選挙法の規定により、議員の寄付行為や年賀状など時候の挨拶状は禁止されております